

2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社 千ノ一
(東証1部：6850)

1.2021年3月期 第1四半期決算

- 1) 決算の概要
- 2) 業績サマリー
- 3) 営業利益増減分析
- 4) 四半期別連結売上高の推移
- 5) セグメント業績
- 6) 連結貸借対照表
- 7) 海外売上高の推移

2.株主還元

3.トピックス

4.業績予想・中期経営計画2020進捗状況

1) 決算の概要

<2021年3月期 第1四半期 連結業績>

受注高

4,703百万円 前年同期比0.4%減



売上高

4,159百万円 前年同期比3.1%減



電子部品関連や自動車関連向けの需要が一段と減速

利益面

営業利益

▲116百万円 (前年同期▲7百万円)



経常利益

▲72百万円 (前年同期17百万円)



当期純利益(親会社帰属)

365百万円 (前年同期▲3百万円)



①営業利益、経常利益

: 売上高減少の影響等により減益

②当期純利益

: 明陽電機株式会社の連結子会社化に伴う

負ののれん発生益を特別利益に計上し、増益

2) 業績サマリー (1)

◇ 連結業績

(百万円)

	FY2019 1Q実績	FY2020 1Q実績	前期増減	前期増減比
受注高	4,723	4,703	▲ 20	▲0.4%

	FY2019 1Q実績	FY2020 1Q実績	前期増減	前期増減比
売上高	4,293	4,159	▲ 134	▲3.1%
売上総利益 (利益率)	1,259 (29.3%)	1,144 (27.5%)	▲ 115 (▲1.8p)	▲9.2%
営業利益 (利益率)	▲ 7 (▲0.2%)	▲ 116 (▲2.8%)	▲ 109 (▲2.6p)	—
経常利益 (利益率)	17 (0.4%)	▲ 72 (▲1.7%)	▲ 89 (▲2.1p)	—
当期純利益 (親会社帰属) (利益率)	▲ 3 (▲0.1%)	365 (8.8%)	368 (8.9p)	—

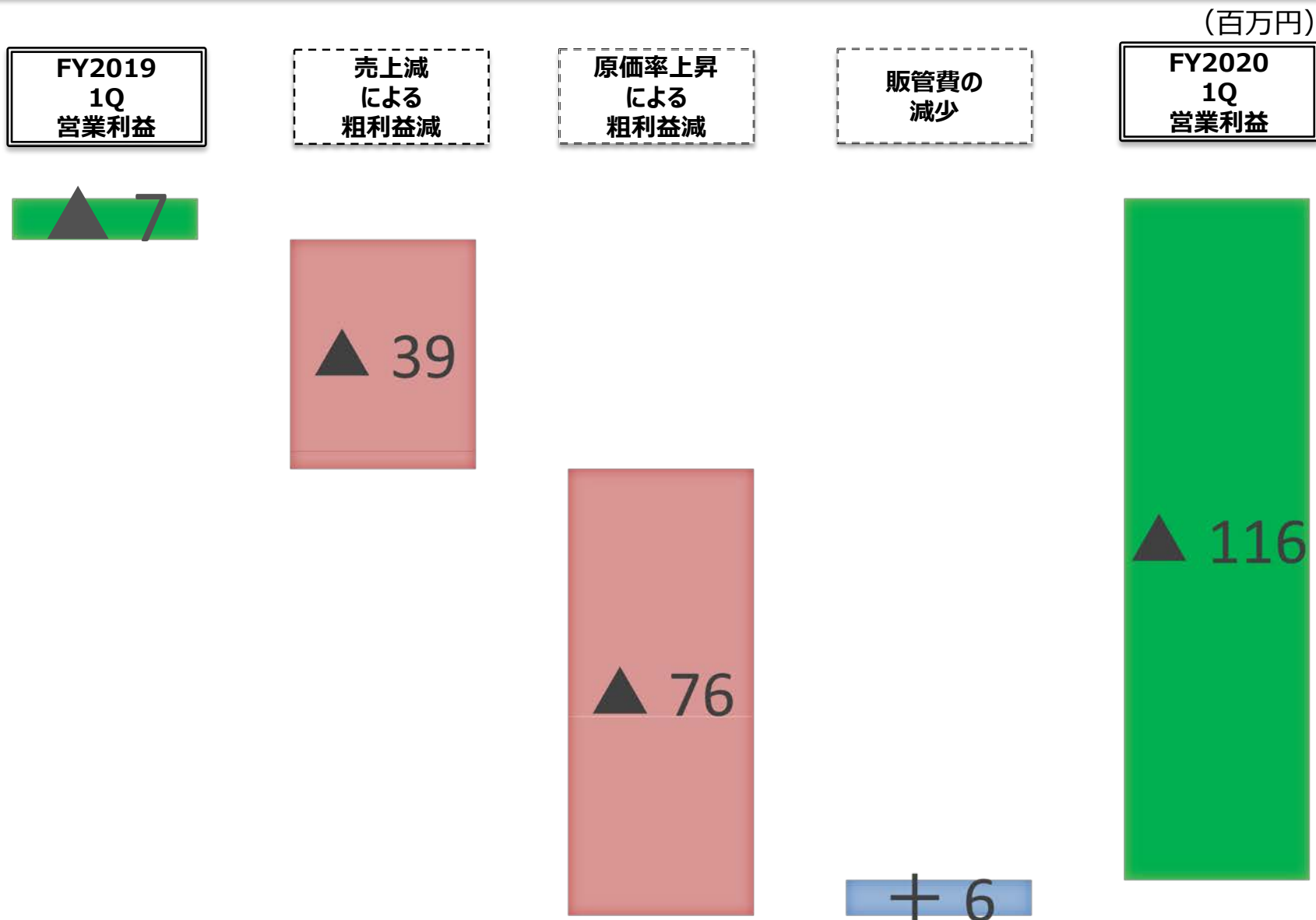
2) 業績サマリー (2)

◇セグメント別業績

(百万円)

		FY2019 1Q実績	FY2020 1Q実績	前期増減	前期増減比
受 注 高	計測制御機器	1,711	1,426	▲ 284	▲16.6%
	計装システム	1,647	1,421	▲ 225	▲13.7%
	センサ	1,185	1,667	482	40.7%
	その他	179	186	7	4.2%
	合計	4,723	4,703	▲ 20	▲0.4%
売 上 高	計測制御機器	1,800	1,506	▲ 294	▲16.3%
	計装システム	1,347	1,003	▲ 343	▲25.5%
	センサ	935	1,472	536	57.3%
	その他	209	177	▲ 32	▲15.6%
	合計	4,293	4,159	▲ 134	▲3.1%
営 業 利 益	計測制御機器	269	128	▲ 141	▲52.3%
	計装システム	▲ 36	▲ 51	▲ 14	—
	センサ	120	169	48	40.6%
	その他	6	25	19	284.5%
	全社費用	▲ 368	▲ 389	▲ 21	—
	合計	▲ 7	▲ 116	▲ 109	—

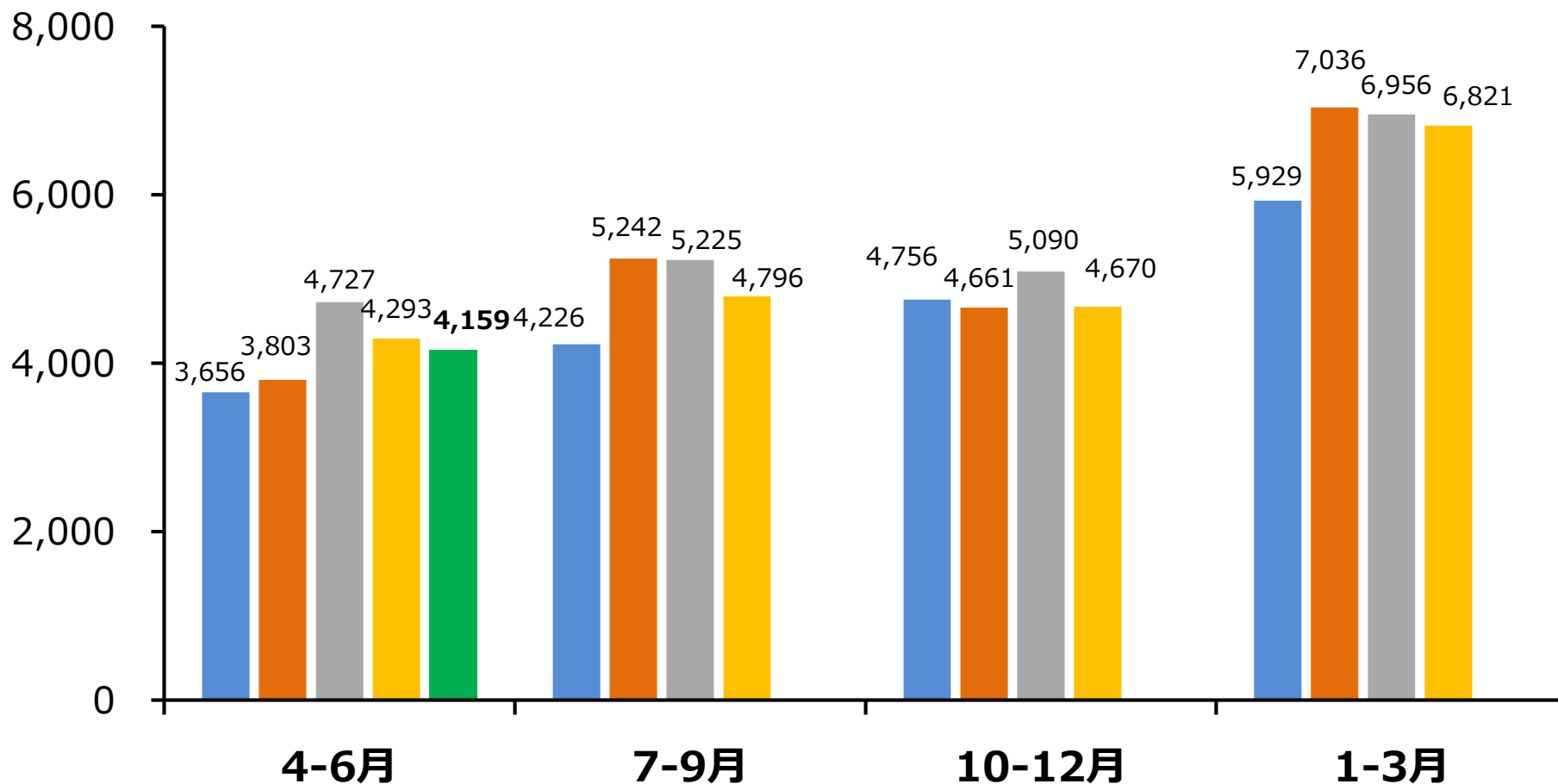
3) 営業利益増減分析



4) 売上高の推移

(百万円)

FY2016 FY2017 FY2018 FY2019 FY2020



5) セグメント業績 (計測制御機器)

損益状況

売上高

1,506百万円 前年同期比16.3%減



セグメント利益

128百万円 前年同期比52.3%減

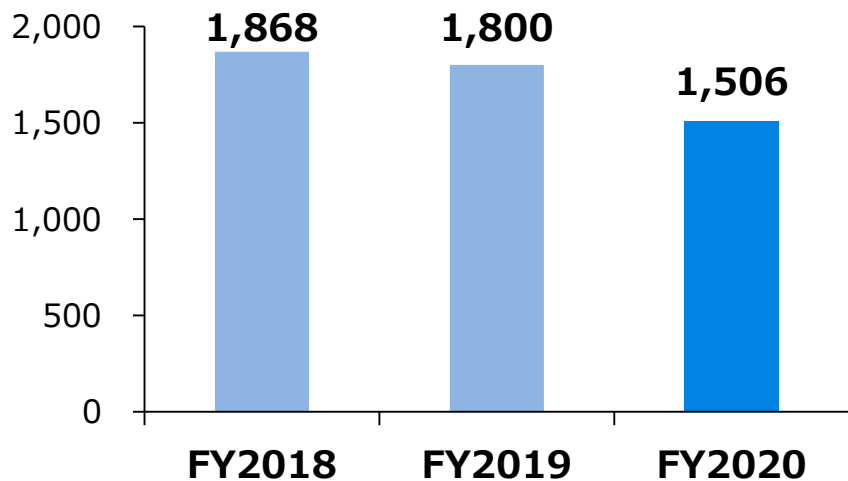


製品別状況

- ・主要顧客向けの記録計、調節計、サイリスタレギュレータの売上がいずれも低迷
- ・新型コロナウイルス感染症対策の需要増により、体表面温度チェッカ等を含む民生用製品は堅調

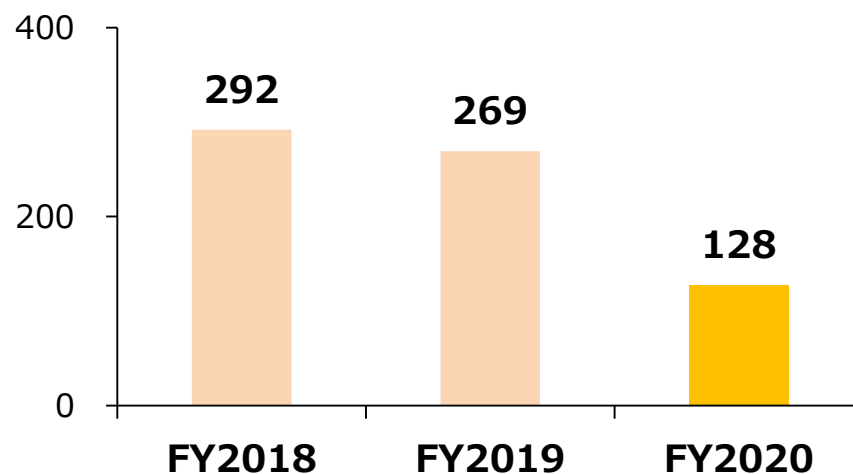
◇売上高 (1Q)

(百万円)



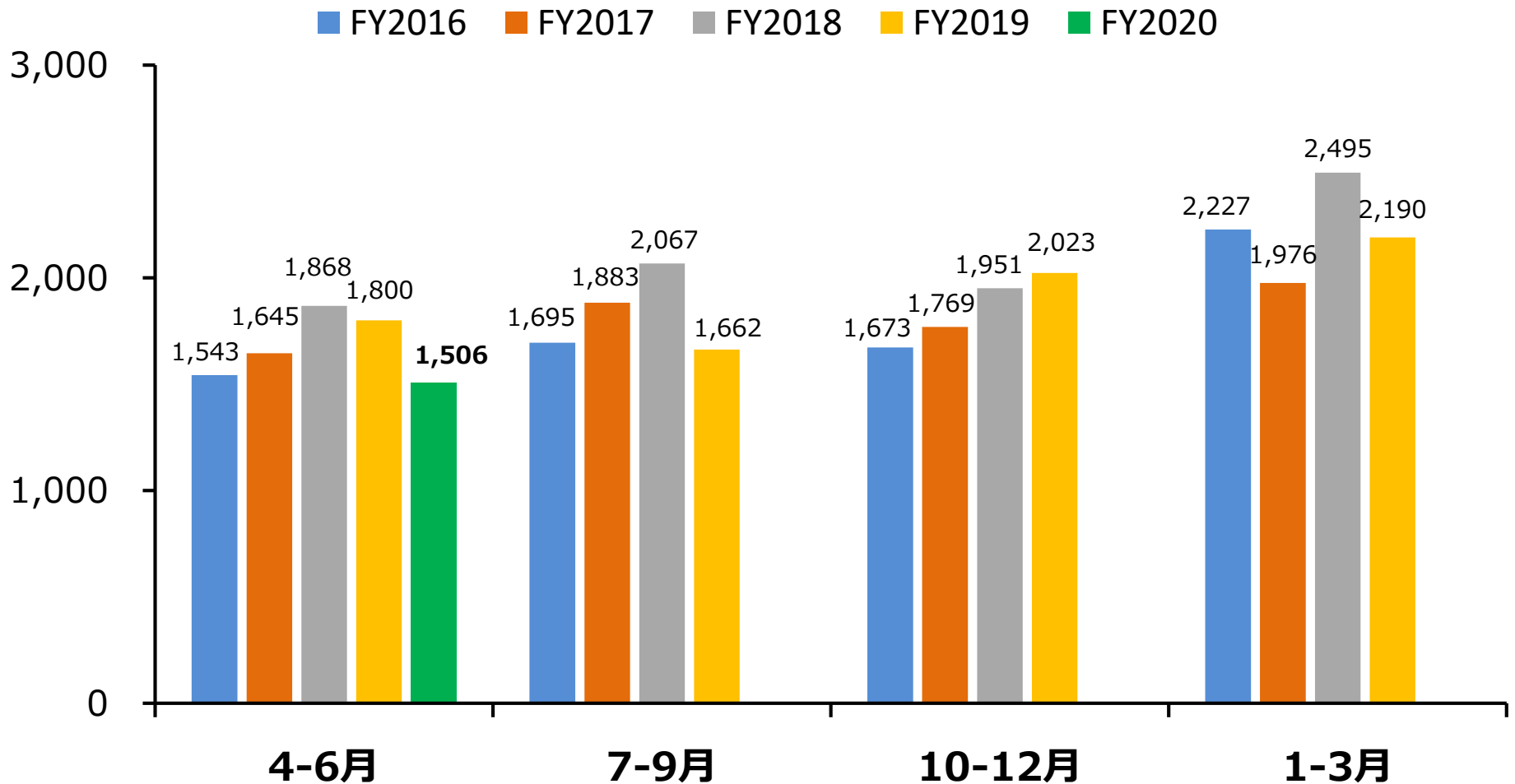
◇セグメント利益 (1Q)

(百万円)



5) 売上高推移 (計測制御機器)

(百万円)



5) セグメント業績 (計装システム)

損益状況

売上高

1,003百万円 前年同期比25.5%減



セグメント利益

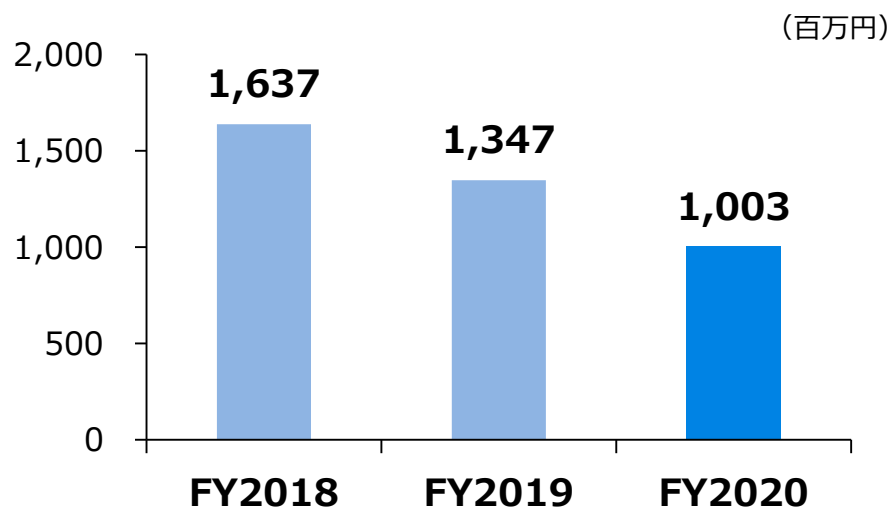
▲51百万円 (前年同期▲36百万円)



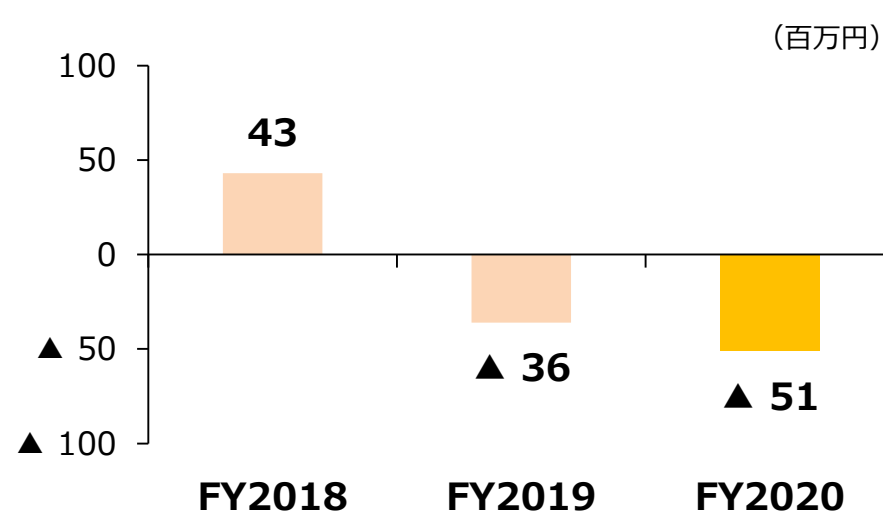
製品別状況

- ・電子部品関連の製造装置向けの売上が低迷
- ・自動車関連向けの燃料電池試験装置、コンプレッサ評価試験装置は売上が減少
- ・医薬品等の温湿度管理システムは需要が拡大

◇売上高 (1Q)



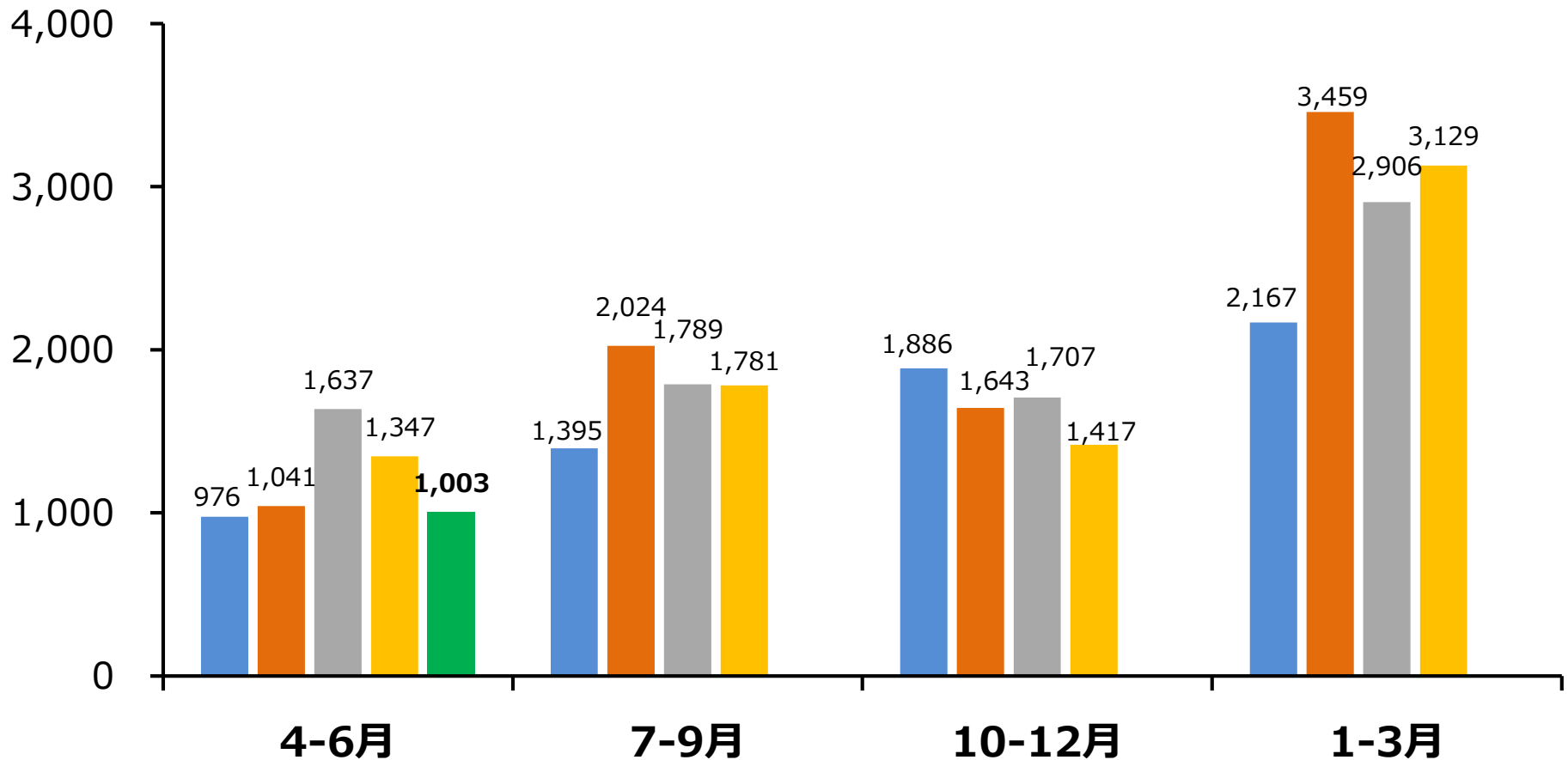
◇セグメント利益 (1Q)



5) 売上高推移 (計装システム)

(百万円)

FY2016 FY2017 FY2018 FY2019 FY2020



5) セグメント業績 (センサ)

損益状況

売上高

1,472百万円 前年同期比57.3%増



セグメント利益

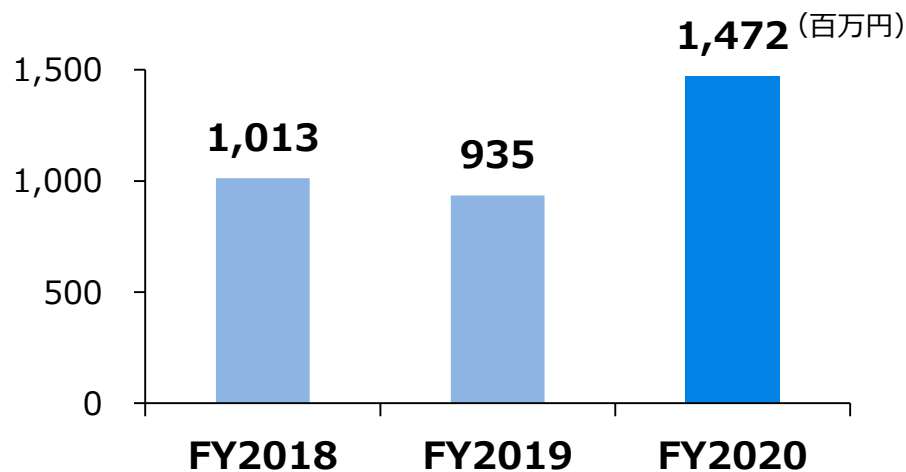
169百万円 前年同期比40.6%増



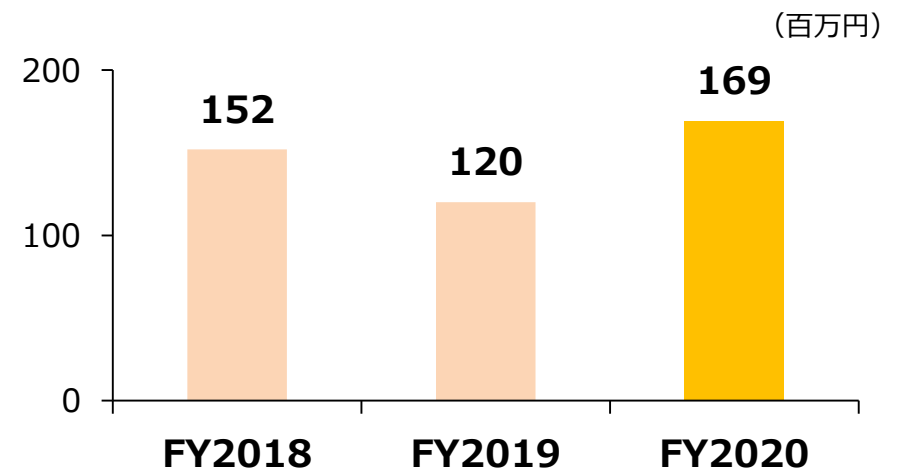
製品別状況

- ・鉄鋼や熱処理関連では、放射温度計や温度センサの需要減
- ・体表面温度発熱監視カメラは需要増
- ・今期から連結子会社化した明陽電機の業績が寄与

◇売上高 (1Q)

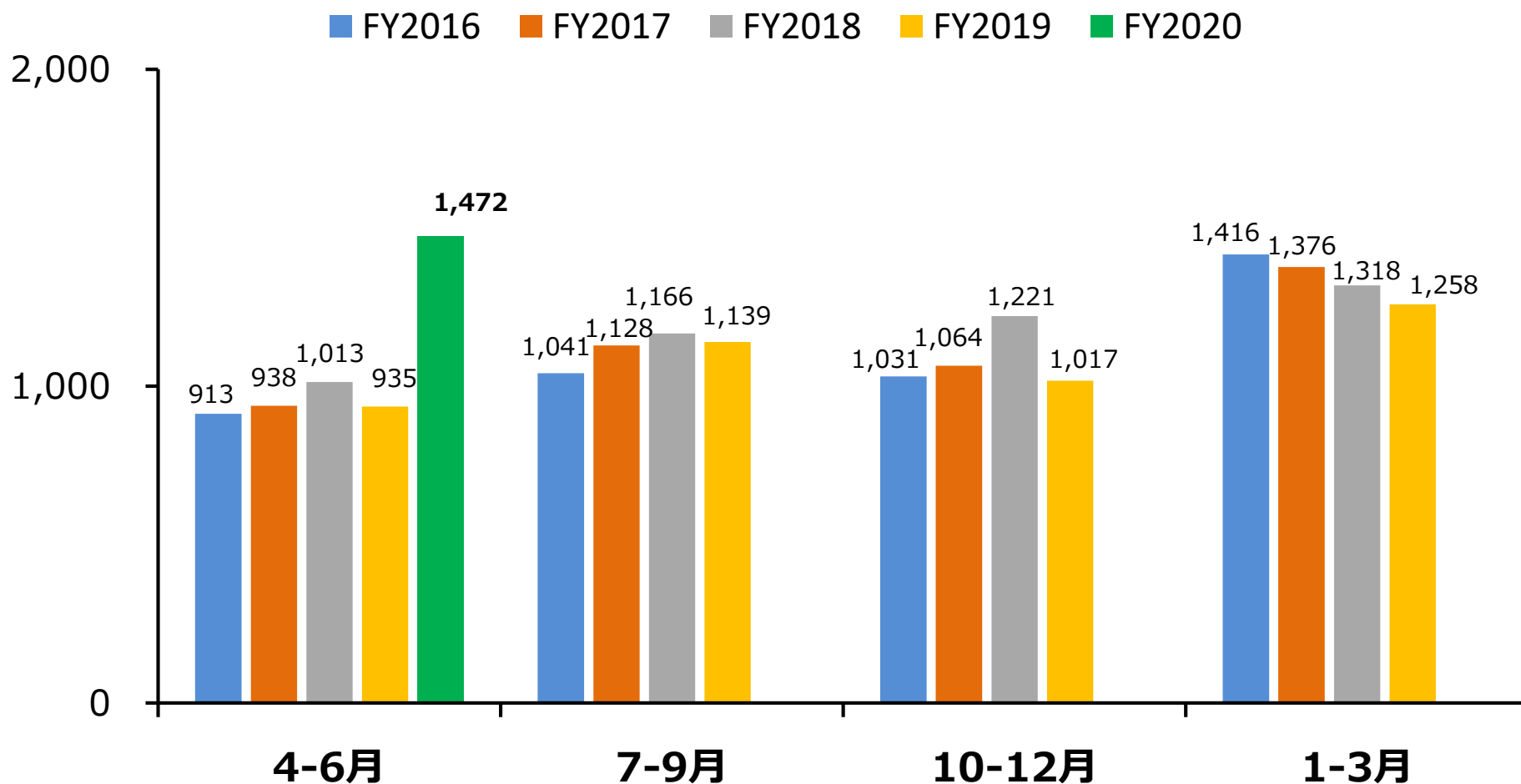


◇セグメント利益 (1Q)



5) 売上高推移 (センサ)

(百万円)



6) 連結貸借対照表

資産、負債、純資産ともに、明陽電機株式会社の子会社化を主因として増加

- ◆ 資産 現預金及び棚卸資産が増加し、前期末比2,246百万円の増加
- ◆ 負債 短期借入金の増加等により、前期末比405百万円の増加
- ◆ 純資産 前期末比1,841百万円の増加

(百万円)

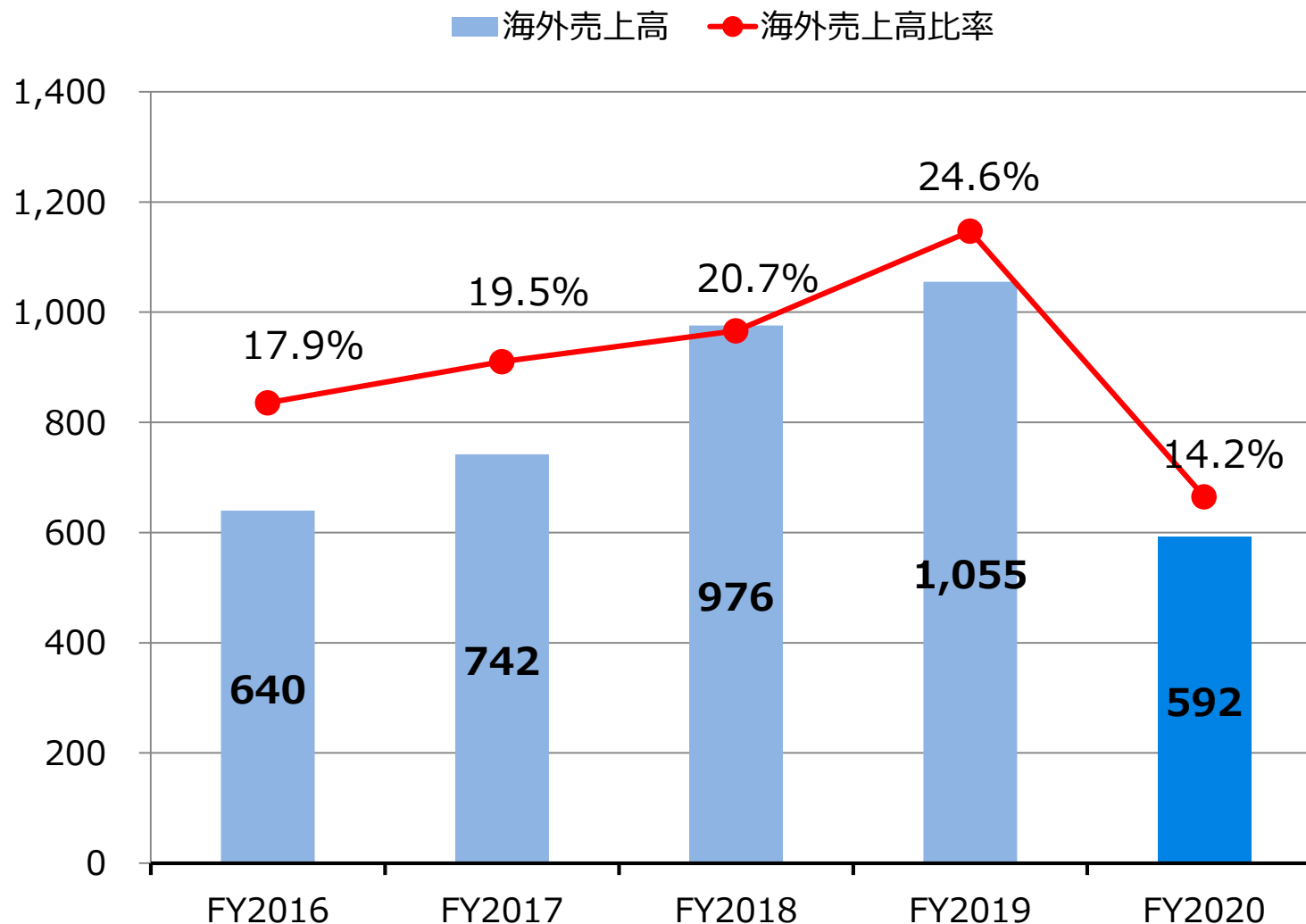
科目	2020年3月末	2020年6月末	増減
流動資産	17,421	19,535	2,113
現預金	4,650	6,538	1,887
売掛債権	7,327	6,375	▲ 952
棚卸資産	4,992	6,217	1,225
その他	450	403	▲ 47
固定資産	9,286	9,420	133
有形固定資産	4,757	5,722	965
無形固定資産	327	318	▲ 9
投資その他の資産	4,200	3,378	▲ 822
資産合計	26,708	28,955	2,246

科目	2020年3月末	2020年6月末	増減
流動負債	7,063	7,453	390
仕入債務	3,850	3,679	▲ 170
短期借入金	1,574	1,698	124
その他	1,638	2,075	437
固定負債	3,326	3,340	14
長期借入金	1,260	1,206	▲ 53
その他	2,066	2,134	68
純資産	16,318	18,160	1,841
株主資本	15,500	15,484	▲ 16
その他の包括利益累計額	▲ 123	▲ 56	66
非支配株主持分	941	2,732	1,791
負債純資産合計	26,708	28,955	2,246

自己資本比率：2020年6月末53.3%、2020年3月末57.6%

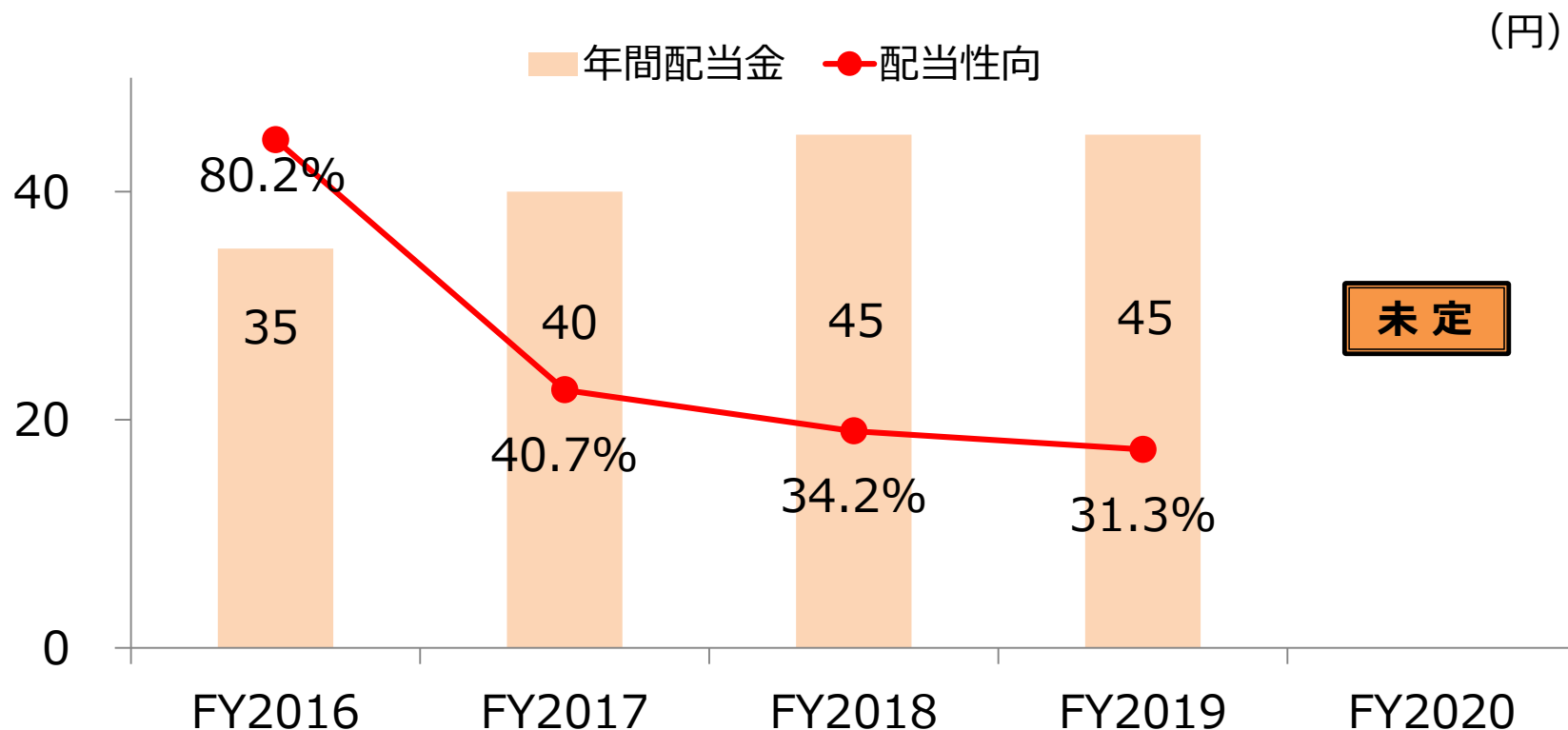
7) 海外売上高の推移 (1Q)

(百万円)



2. 株主還元

- ◆現時点では配当予想を開示しておりません。
業績及び将来の事業展開を考慮して必要な内部留保を確保しつつ、株主に対する利益還元を最も重要な経営課題のひとつと考え、安定的かつ継続的に適正配当を行う基本方針に変わりはありません。
- ◆2016年12月から2017年5月にかけて自己株式の取得を120百万円実施。



※FY2020の配当予想は開示しておりません。

3.トピックス

1) 明陽電機株式会社を子会社化

当社は2020年4月に明陽電機株式会社の株式を追加取得し、当社の子会社としました。

同社との事業連携により、ICT化が進む船舶用市場へ当社計測制御機器・センサ全般の拡販を見込むとともに、同社が培ってきた高耐震・高温耐久性の技術や高信頼性を活かし、陸上の産業分野への展開を目指します。

[明陽電機の概要]

設立年月	1948年5月
所在地	静岡県静岡市清水区七ツ新屋485
事業内容	船舶エンジン用温度センサ他、 各種船舶搭載機器専門メーカー

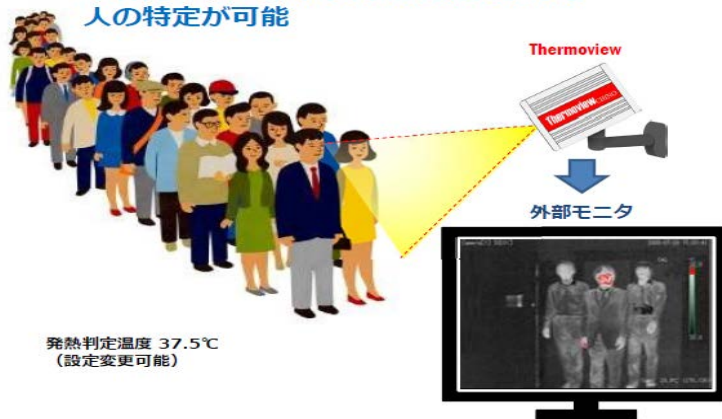


2) 新型コロナウイルス感染拡大防止への貢献

当社製品が、発熱者の早期発見に役立っています。

高精度と堅牢性を実現した体表面温度監視専用モデル

不特定多数の中から発熱の疑いがある
人の特定が可能



CPA-L25TV



ユニット形 体表面温度チェッカ サーモビクス

TP-U series

特長

- 3秒ですばやく体表面温度を測定
- スタンバイ、OK、NGランプを確認する
簡単操作でセルフチェックが可能
- ふれずに測定できるので衛生的
- 単体で運用が可能

TP-U

測定環境や目的に合わせて、大型の公共施設から小人数を対象とした場所まで幅広く体表面温度測定に対応

4.業績予想・中期経営計画 進捗状況

業績予想・「中期経営計画2020」進捗状況

(百万円)

中期経営計画

	2017年度	2018年度			2019年度			2020年度		
	実績	実績	当初計画	差異	実績	業績予想 (2019年11月)	差異	業績予想 (2020年8月)	当初計画	差異
売上高	20,745	21,999	21,460	539	20,582	20,000	582	—	24,000	—
営業利益	1,303	1,718	1,400	318	1,026	1,100	▲73	—	1,700	—
海外売上高比率	19.9%	22.5%	21.0%	1.5p	22.2%	23.1%	▲0.9p	—	25.0%	—

※2020年度の業績予想は新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難である為、開示しておりません。

本資料におけるご注意とお願い

- **本資料における将来の業績に関する見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、不確実性を含んでおります。**
- **また、業績等に関する記述につきましても、信頼できる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性を保証するものではありません。**

CHINO